

2021年9月30日

課題名：口腔顎顔面痛が QOL や ADL に与える影響に関する前向き観察研究

◆研究の目的と概要◆

倉敷中央病院歯科では、口腔顎顔面領域における慢性疼痛を有する患者の皆様に対してペインクリニックを行っています。慢性疼痛診療では、重症度や治療効果を評価する際、痛みの強さだけでなく、ADL (activities of daily living : ADL) や QOL (quality of life : QOL) を評価することが重要です。しかし現在、口腔顎顔面疼痛に特化した ADL や QOL の評価方法がないため、治療効果や成績について十分な検討がなされていません。本研究では口腔顎顔面痛患者の皆様のだどのような生活上の問題が QOL に影響するのか、またどの程度 QOL が損なわれているのか等を調査することを目的としています。研究により得られた結果は、口腔顎顔面痛に特化した評価方法の開発にも役立つものと期待しています。

◆対象となる患者さん◆

2021年10月から2026年3月までに、倉敷中央病院歯科に口腔顎顔面痛を主訴に初診で受診された患者の皆様

◆研究に使用される情報◆

- ① 患者様の背景（年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、既往歴、現在の服薬内容）
- ② 疼痛強度（VAS: Visual Analogue Scale, BPI: Brief Pain Inventory）、ADL/QOL（PDAS: Pain Disability Assessment Scale, AIS: Athens Insomnia Scale, SF-36: MOS 36-Item Short-Form Health Survey, GOHAI : General [Geriatric] Oral Health Assessment Index）、精神心理状態（HADS: Hospital Anxiety and Depression Scale, PCS: Pain Catastrophizing Scale, PSEQ: Pain Self-Efficacy Questionnaire, MMPI: Minnesota Multiphasic Personality Inventory）
- ③ 血液検査、定量的感覚検査の結果
- ④ 歯科レントゲンやCT、MRI 画像検査の所見
- ⑤ 経過と転帰

◆研究方法◆

本研究は過去のカルテ等から上記の情報を抽出し、統計解析などを行います。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、

以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

歯科 研究責任者 川瀬 明子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明